

産業活性化グループ

1 商工業振興

(1) 中小企業振興資金

ア 申込み及び決定状況

種別	区分	申込み及び決定	
		件数 (件)	金額 (千円)
運転資金		23	109,128
設備資金		9	31,850
開業資金		6	41,850
借換資金		9	83,800
合計		47	266,628

イ 融資及び返済状況

種別	令和元年度末 融資残高		令和2年度 貸付実行額		令和2年度 返済額		令和2年度末 融資残高	
	件数 (件)	運用残高 (千円)	件数 (件)	融資額 (千円)	件数 (件)	返済額 (千円)	件数 (件)	運用残高 (千円)
運転	348	898,613	23	109,128	71	290,992	300	716,749
設備	127	342,471	9	31,850	27	97,837	109	276,484
開業	26	65,172	6	41,850	4	19,889	28	87,133
借換	91	465,822	9	83,800	12	144,996	88	404,626
合計	592	1,772,078	47	266,628	114	553,714	525	1,484,992

※返済額件数は令和2年度中に返済完了した件数

(2) セーフティネット保証制度

認定状況

認定対象	認定件数
中小企業信用保険法第2条第5項第4号	483件
中小企業信用保険法第2条第5項第5号	66件

(3) 東日本大震災復興緊急保証制度

認定状況

認定対象	認定件数
東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律第128条第1項第1号	0件

(4) 危機関連保証制度

認定状況

認定対象	認定件数
中小企業信用保険法第2条第6項 (新型コロナウイルス感染症の影響による)	89件

(5) 商工団体の育成及び実施状況

ア 商工会補助金

・人件費 (商工会に対する補助金算定基準に基づく。)	7,392,067円
・事業費	14,055,881円

合計 21,447,948円

イ 商工会事業実績

- ・経営指導員による巡回及び窓口・創業指導 733 回
- ・講習会の開催により行った集団及び個別指導 33 回 254 人
- ・経営発達支援事業

「小規模企業振興基本法」及び「商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律の一部を改正する法律」に基づき、福生市商工会経営発達支援計画の策定を行い、平成28年4月に経済産業大臣の認定を受け、管内小規模事業者の持続的な発展及び地域経済の活性化を目的に経営指導員による伴走型支援を実施した。

- ① 専門家派遣による経営課題の抽出・経営計画書策定支援
- ② 地域の経済動向調査及び小規模事業者が取扱う商品・役務の需要動向調査の分析・情報発信

- ・融資のあっせん 9 件 30,000 千円

内訳	融資制度	件数 (件)	金額 (千円)
	日本政策金融公庫	9	30,000
	東京都	0	0
	貯蓄共済	0	0
	その他の金融機関	0	0

・その他

東京都の重点事業

「中小企業活力向上プロジェクトネクスト」、「エキスパートバンク事業」等の東京都の小規模事業者向け施策に積極的に取り組み、実績を上げた。

地域振興事業

① いいもの・いいサービス PR 事業

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、経営が逼迫している事業者支援として、市内商工業者へ安価かつ効果的にPRできる環境を整備することを目的に、チラシ制作・SNS 発信事業を行った。※SNS 発信事業は、福生のいいもの・いいサービスを「#福生エールの輪」として SNS 投稿を促すことで、SNS から福生市の地域活性化を目指した取組。SNS に馴染みない世代を対象に、SNS と連動した HP も開設した。

・チラシ制作

配布方法 新聞折込・ポスティング
 配布部数 5.5 万部
 配布日 新聞折込：令和2年11月21日(土)
 ポスティング：令和2年12月1日(火)

・SNS 発信事業

HP 開設日 令和2年10月30日(金)
 投稿件数 366 件
 HP アクセス数 164 件

② 個者支援 新規販路開拓支援事業

福生市感染症対策継続支援金事業の給付を受けている事業者で、令和元・2年度に専門家派遣等を行った、意欲的な事業者を対象に新たな販路開拓にかかった経費補助を行った。

支援事業者数 23 事業所

申請事業者が実施した補助事業の内訳（複数実施事業者あり）

事業内容	事業所数	事業内容	事業所数
チラシ作成	10	自社 HP 作成	9
新聞折込	1	ネット広告等	2
ポスティング	7	その他	7

F の店推進事業

- ① “わくわく福生” を応援する街おこしマガジン「FUSSA PAPER Vol.17」を 10,000 部発行し、市公共施設、「F の店」加盟店等へ配布した。
- ② メールマガジン「F の店便り」の定期的な発信により、「F の店」加盟店の情報を市内外へ紹介した。
- ③ JR 福生駅のペDESTリアンデッキに横断幕を掲げ、駅の乗降客に対して市内事業者への誘因を促すとともに、F の店加盟店の PR に努めた。
- ④ F の店加盟店で使用できる「商品引換券が当たるキャンペーン」としてアンケートの実施による「お客様の声」を専門家が分析し、経営改善に役立てる取組を実施した。

福生ドッグ推進事業

- ① 市内外のイベントが新型コロナウイルス感染症の影響より中止になったが、テレビ東京の番組に取り上げられるなどし、「福生ドッグ」の販路開拓支援を行い、福生市の商業活性化に努めた。
- ② 各取扱店舗に福生ドッグ取扱店舗であることのステッカーを掲示して、来訪者への PR 活動を行なった。
- ③ 福生ドッグを購入した方へのノベルティとして、各取扱店舗限定 20 枚の携帯電話に貼るシールを作成し配布することにより PR を行なった。

小規模事業者経営改善資金利子補給交付事業

商工会の推薦により日本政策金融公庫から小規模事業者経営改善資金貸付（マル経融資）を受けている一定条件を満たす市内小規模事業者に対し、利子補給として補助金を交付する事業を実施したが、申請はなかった。

利子補給率 50%

交付期間 金融公庫の融資実行後、当初 3 年間

利子補給対象 0 件

住まいの省エネ・バリアフリー住宅改修等工事費助成事業

省エネ・バリアフリー住宅改修に係る工事支払額の 20%相当（限度額 20 万円分）及び住宅改修に係る工事支払額の 10%相当（限度額 10 万円分）を助成した。

助成実績 105 件 7,149,000 円

業種別振興事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、商業部会、工業部会、建設業部会、青年部、女性部の各部会等で中止とした事業もあった。

第 32 回インターナショナルフェア

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

福生蔵開き

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

2 青梅線沿線地域産業クラスター協議会

青梅線沿線地域産業クラスター協議会とは、JR青梅線・五日市線・八高線を沿線とする西多摩地域の各自治体、商工会議所・商工会及び一般社団法人首都圏産業活性化協会（TAMA協会）による産業支援のためのネットワーク組織。

令和2年度においては、技術・製造会社の社員や大学生等を対象とした「新入社員・中堅社員・管理監督者研修」や「合同企業説明会事業（新卒・中途採用向け）」、「企業視察見学会」を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

なお、「ポータルサイト運営事業」については実施した。

3 創業支援事業

商店街振興策として、市内商店街への創業を促進するとともに、市内の空き店舗を活用し、新たにコミュニティビジネス事業等を創業しようとする者に対し、出店に係る経費の一部を補助することにより活力ある商店街づくりの推進を図った。

(1) 創業支援セミナー

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面でのセミナー開催は中止とした。

(2) 福生市コミュニティビジネス支援事業補助金

（※令和3年度より福生市空き店舗活用補助金）

区 分	実 績
補助件数	2件（家賃・改装費等）
補 助 額	641,415円（家賃） ①令和元年度決定者に対する家賃補助50,000円×10か月＝500,000円 ②令和元年度決定者に対する家賃補助32,000円×4か月＝128,000円 ③2件のうち1件が事業変更に伴う影響により家賃補助がなくなるため、8月分日割り補助13,415円

4 消費生活

(1) 消費生活相談 毎週月・水・金曜日実施

年 度	相談件数
令和2年度	241件
令和元年度	258件
平成30年度	231件
平成29年度	192件
平成28年度	183件

年度	相談件数順位		
	1位	2位	3位
令和2年度	運輸・通信サービス (38件)	保健衛生品 (26件)	食料品 (18件)
令和元年度	運輸・通信サービス (60件)	商品一般 (47件)	食料品 (19件)
平成30年度	運輸・通信サービス (52件)	商品一般 (46件)	他の役務 (15件)
平成29年度	運輸・通信サービス (44件)	商品一般 (16件)	レンタル・リース (15件)
平成28年度	運輸・通信サービス (39件)	他の役務 (15件)	金融・保険サービス (15件)

※相談件数順位は、相談種別が多岐にわたるため件数の多いもの3位までを記載

「運輸・通信サービス」：アダルトサイト、架空請求の相談等

「金融・保険サービス」：カードローンの支払、CO₂排出権取引の相談等

「レンタル・リース」：賃貸アパートの相談等

「商品一般」：商品やサービスの特定できない架空請求、行政機関を装ったメール等

「他の役務」：個人情報削除、ワンクリック請求解決時トラブルの相談等

(2) 消費生活啓発事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、消費者セミナー及び消費者展は中止とした。

5 就業支援

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年実施しているハローワーク青梅及び東京しごとセンター多摩と共催の就職面接会は中止とした。

年度	区分	参加企業数	面接人数
令和2年度		中止	
令和元年度		20社	97人
平成30年度		20社	142人
平成29年度		20社	73人
平成28年度		20社	95人

6 農耕地・農家戸数

(単位：a)

農耕地面積								
年度	区分	水田	普通畑	果樹園	桑園	茶園	その他	合計
令和2年度		10	1,076	75	2	18	71	1,252
令和元年度		10	1,069	75	2	28	75	1,259
平成30年度		10	1,107	75	2	28	75	1,297
平成29年度		10	1,137	120	2	28	50	1,347
平成28年度		10	1,137	140	2	28	49	1,366

※市外農耕地を含む。

農家戸数									
年度	区分	5a未満	5~10a未満	10~20a未満	20~30a未満	30~40a未満	40~50a未満	50a以上	合計
令和2年度		2	17	13	9	5	9	2	57
令和元年度		3	16	13	12	4	7	3	58
平成30年度		2	15	14	12	4	8	3	58
平成29年度		0	15	16	13	4	8	3	59
平成28年度		0	14	16	13	4	8	3	58

7 経営戸数

年度 \ 区分	そ菜経営戸数	植木生産経営戸数	花き生産経営戸数
令和2年度	56	38	15
令和元年度	55	35	16
平成30年度	55	35	16
平成29年度	56	35	12
平成28年度	56	33	13

※「植木生産経営戸数」とは、「樹木・果樹生産経営戸数」を指す。

8 草花苗生産委託

苗の種類	生産委託株数
サルビア	7,200
ペチュニア	7,200
マリーゴールド	15,600
パンジー	13,475
葉ボタン	5,700
ビオラ	14,025
合計	63,200

9 市民農園

農園名	設置区画数	使用区画数	使用率	契約期間
熊川武蔵野第二市民農園 (平成23年4月1日開設) 面積 625.00 m ²	35	35	100.0%	平成31年4月1日から 令和4年2月28日まで
熊川牛浜市民農園 (平成23年4月1日開設) 面積 220.00 m ²	18	18	100.0%	〃
熊川北市民農園 (平成25年4月1日開設) 面積 300.00 m ²	23	23	100.0%	〃
福生武蔵野市民農園 (平成25年4月1日開設) 面積 2,184.17 m ²	130	130	100.0%	〃
福生奈賀市民農園 (平成25年4月1日開設) 面積 1,000.99 m ²	83	83	100.0%	〃
熊川東市民農園 (昭和49年3月1日開設) 面積 2,330.00 m ²	186	186	100.0%	令和2年4月1日から 令和5年2月28日まで
南田園第二市民農園 (平成22年4月1日開設) 面積 248.75 m ²	17	17	100.0%	〃
合計	492	492	100.0%	—
前年度合計	567	558	98.4%	—

10 プレミアム付商品券事業

(1) 概要

令和元年度に実施した20%のプレミアム付商品券事業の事業費及び事務費の精算を行なった。

なお、商品券の販売・管理に係る事業については、福生市商工会が主体となり実施した。

(2) 福生市商工会補助金

事業費分 (プレミアム分)	932,800 円
事務費分	360,777 円
合 計	1,293,577 円

11 事業者向けよろず支援相談事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、市内事業者の休業等による売上げ減少に伴う資金繰り、業況悪化に伴う経営上の不安、国や東京都の支援策への手続き方法等の問合せに対応するため、専門家である中小企業診断士を設置し、市内事業者に対する専用相談ダイヤルを設け、事業者の心理的不安の解消を図るとともに今後の事業継続に係るアドバイス等を行なった。

(1) 事業期間

令和2年5月14日から7月31日まで

(2) 事業実績

	電話相談件数	面談件数	計
5月(12日間)	66	26	92
6月(22日間)	219	81	300
7月(21日間)	129	58	187
合 計(55日間)	414	165	579

12 事業継続応援金給付事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、国、東京都又は福生市等からの各種支援や融資等を受けた市内に事業所・店舗等を有する中小企業者及び個人事業主に対し、事業継続を支援するため一事業者につき10万円の応援金を給付する事業を実施した。

(1) 実施期間

令和2年6月8日から令和3年2月28日まで

(2) 事業実績

申請件数：1,806件 給付件数：1,806件 (給付率100%)

(3) 申請要件別内訳

給付件数(内訳)					
持続化給付金	協力金	セーフティネット等	市制度融資	日本政策金融公庫	その他
1,278	314	132	14	38	30

13 事業者向け感染症対策継続支援金給付事業

新型コロナウイルス感染症が蔓延する中で、市内事業者の感染拡大防止と経済活動の両立を図るため、福生市商工会が感染症対策状況を巡回し確認した。確認後、東京都の『感染防止徹底宣言ステッカー』を掲示し対策を講じている場合には、対策を継続するため一事業者につき5万円の支援金を給付した。

(1) 実施期間

令和2年10月1日から令和2年12月28日まで

(2) 事業実績

給付決定件数：851件

(3) 給付決定事業者 業種別内訳

業種別(内訳)	件数
飲食業	289
建設業	42
小売業	179
理美容業	93
医療関係	8
製造業	21
宿泊業	2
不動産	28
鍼灸整体	20
サービス業	63
福祉関連	20
教育・学習関係	33
その他	53